

お話をつくろう

—作品を組み合わせ、お話をつくろう—

- *ねらい
 - お話づくりを通して、作品をいろいろな視点で見ようとする。
 - 友だちの連想したお話との違いを楽しむ。(想像力と表現力を育てる。)
- *準備物
 - <アートカードみえⅠ>または<アートカードみえⅡ>をグループ数分
 - <アートカードみえⅠ>または<アートカードみえⅡ>作品一覧を人数分
 - 筆記用具
 - ワークシート
- *場の設定
 - 1グループ4人程度
 - アートカードを広げることができるスペース。
- *評価
 - お話を作ったり、友だちの作ったお話を聞いたりする活動を楽しむことができたか。(関心)
 - 自分なりの見方で作品を選び、お話をつくることができたか。(鑑賞)
 - 友だちのお話を聞き、感じ方の違いを楽しむことができたか。(鑑賞)

★ワークシート例★

名前 ()	
めあて 「作品を組み合わせ、お話をつくる」	
<p>●お話をつくろう</p> <p><作品番号></p> <p>↓</p> <p></p> <p>↓</p> <p></p>	<p><お話></p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p>
<p>●感想を書こう</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p>	

お話をつくろう

—作品を組み合わせ、お話をつくろう—

★授業展開の例★

学習活動	指導のポイント
<ul style="list-style-type: none"> ●アートカードでお話づくりをすることを 知る。 ●お話をつくる。 <ul style="list-style-type: none"> ・シャッフルして裏返したカードから一人1枚とる。 ・残りの作品（2～3枚）を選ぶ。 ・ワークシートに書く。 ●作ったお話を聞き合う。 ●お話づくりの感想を書く。 ●後片付けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○例をいくつか示すことで理解を図り、意欲を持たせる。 ○3～4枚のカードでお話をつくる。1枚は偶然に引き当てたカードを使い、2枚目以降は1枚目のカードをもとに自由に選ぶなど、ルールを工夫する。 ○カードは自由に並べ替えてもよい。 ○学習の最後に、つくったお話を聞き合うことを知らせる。 ○作品一覧を使わせるとよい。 ○作品番号と、お話を書かせる。 ○黒板などに貼ったカードを示しながら発表する方法や、紙芝居のように1枚ずつ見せる方法など、より効果的な方法を工夫させる。 ○自分や友だちの、作品の見方や感じ方に着目するような言葉かけをする。 ○カードは上下（裏表のシール位置）の向きをそろえ、番号順に並べて返却させる。

<お話の例>

*スタンダードⅠ

No.42 「おかあちゃん、ピクニックに行こうよ。」「じゃあ、準備をしましょうね。」

No.20 こんなにたくさんお弁当を作っていたら・・・

No.43 出かける前に日が暮れちゃった！

*スタンダードⅡ

No. 1 「なんか、指の先がいたいわあ。」

No.45 「どれどれ、私がこの目で見えよう。」

No.36 「あーあ、こんなにトゲが刺さってる・・・」